Bellmark Shimbun
ベルマーク新聞 10月号
2026年（令和8年）10月10日（土曜日）
発行　公益財団法人 ベルマーク教育助成財団　東京都墨田区両国3-25-5　JEI両国ビル9階　〒130-0026　電話 03-5638-2320（代表）
郵便振替口座 00100-7-56035　ホームページ https://www.bellmark.or.jp/

いらなくなったパソコンが秘める可能性

リネットジャパンリサイクルの回収拠点を見学



①金属探知機を通って工場内に　②作業着のポケットは、実は物を入れられない飾り。物を持ち込んだり、持ち出せないようになっている　③手作業で解体中　④磁気消去の装置
⑤物理破壊で粉々に　⑥ソフトでデータ消去中　⑦基板には多くの貴金属やレアメタルが含まれています　⑧CPU は金を含む

協賛会社のリネットジャパンリサイクル（ベルマーク番号 11）のベルマーク運動は、家庭で眠る不用パソコン 1 台が 50 点になる仕組みです。教育支援とリサイクルを組み合わせた取り組みで、同社は 2024 年度から協賛会社になりました。

サイトで申し込むと、パソコンを自宅から宅配便で無料回収してくれます。後日、参加団体に点数証明書はがきが届きます。このはがきを財団に送ると、ベルマーク預金になります。

名古屋市名東区にある同社の「スマイルファクトリー名古屋（以下、SF 名古屋）」を見学しました。

■金属探知機を通って作業フロアへ

古いパソコンを処分するとき、多くの人が心配するのは、情報漏洩（ろうえい）です。SF 名古屋の作業フロアに出入りする際は、金属探知機を通らなくてはいけません。来訪者だけでなく、従業員も同じです。「工場内では作業着の着用が必須で、作業着にはポケットがないんですよ」。SF 名古屋のグループリーダー、中根康裕さんが教えてくれました。

箱からパソコンを取り出し、送り主の伝票を確認して、1 台ずつ登録していきます。

■解体作業では「フレンド社員」が活躍

一部リユース可能なパソコンを除き、そのほとんどは手作業で解体されます。

ここでは、知的障がいのある「フレンド社員」が活躍しています。工場の従業員約 100 人のうち 25 人がフレンド社員です。解体後、取り出されたパーツは基板、樹脂、ディスクドライブ、バッテリー、デスクアルミ……など細かく分類されます。

■最適な方法を選びデータを完全消去

中根さんによると、初期化して送られてくるパソコンも含め、完全にデータを消去するため、①データ消去ソフトを使った削除②磁気消去③物理破壊の三つの方法から、パソコンの状態に応じて最適な方法を選んで実行しているそうです。

処理されたパーツは中間処理会社に出荷されます。鉄、アルミ、銅、貴金属（金や銀）、レアメタルといった有用な金属が取り出され、リサイクルされる流れです。

◇

日本で 1 年間に使用済みとなる小型家電は 65 万トン。そのうち、有用な金属は 28 万トンもあります。都市にある鉱山という意味で、「都市鉱山」と呼ばれます。

中根さんは「国内で資源を循環させ、世界一の資源大国にしたい。回収するパソコンを増やし、知的障がいのある人の雇用の拡大も目指しています」と話してくれました。

東北3県の106校を支援

総額は600万円相当

東日本大震災の発生以来、財団が続けてきた東北 3 県への支援を 2026 年度も実施します。支援先は岩手・宮城・福島各県の小・中学校計 106 校、支援総額は 600 万円相当です。

支援先を決めるにあたり、今年度も各県の校長会に協力をお願いしました。その結果、対象になったのが 106 校です。106 校の内訳は、岩手県が小学校 28、中学校 21、宮城県が小学校 10、中学校 27、福島県が小学校 9、中学校 11 です。福島県内には、2 校の子どもたちが一つの校舎で学ぶ小学校がありますが、支援先は 1 校にしました。支援額は 3 県の小・中学校それぞれに 100 万円ずつです。各校が必要とする備品・教材の購入に充てられたり、校外学習の移動のためのバス代として活用されたりします。

小・中学校への支援に加えて、宮城教育大学の「防災教育研修機構」への助成も実施しました。東日本大震災の教訓を、防災に強い学校づくりや防災教育の普及に生かそうと活動している団体です。

被災校へのこのような支援は、参加団体からの友愛援助寄付、個人や団体から財団に寄せられる寄贈マーク、ウェブベルマーク協会からの寄付金、そして参加団体の日々のベルマーク活動によって実現することができています。参加団体がベルマーク預金を貯めてお買いものをすると、その 1 割の額が自動的に支援金になるしくみです。

2026 年度は昨年度に引き続き、2024 年 1 月に発生した能登半島地震の被災校への支援も実施します。支援先は決まり次第、財団ホームページに掲載します。

岩手県・小学校（28 校）宮古市　鍬ヶ崎小、津軽石小、崎山小、重茂小、田老第一小▽大船渡市　大船渡小、大船渡北小、越喜来小、盛小、末崎小、赤崎小、猪川小、立根小、綾里小▽陸前高田市　高田小、気仙小、広田小、小友小、米崎小、矢作小、竹駒小、横田小▽釜石市　釜石小、唐丹小、鵜住居小▽大槌町　大槌学園▽山田町　山田小▽岩泉町　小本小

岩手県・中学校（21 校）宮古市　第一中、第二中、河南中、津軽石中、重茂中、田老第一中▽大船渡市　第一中、大船渡中、東朋中▽陸前高田市　高田第一中、高田東中▽釜石市　釜石中、大平中、唐丹中、釜石東中▽大槌町　大槌学園、吉里吉里学園中▽山田町　山田中▽岩泉町　小本中▽田野畑村　田野畑中▽野田村　野田中

宮城県・小学校（10 校）石巻市　住吉小、湊小、山下小、向陽小▽気仙沼市　松岩小、階上小、月立小、津谷小▽東松島市　矢本西小▽南三陸町　入谷小

宮城県・中学校（27 校）石巻市　石巻中、湊中、蛇田中、渡波中、稲井中、山下中、万石浦中、河北中、雄勝中、河南東中、河南西中、桃生中、牡鹿中▽気仙沼市　気仙沼中、鹿折中、新月中、松岩中、階上中、面瀬中、唐桑中、大谷中、津谷中▽東松島市　矢本第一中、矢本第二中▽女川町　女川中▽南三陸町　志津川中、歌津中

福島県・小学校（9 校）広野町　広野小▽楢葉町　楢葉小▽富岡町　富岡小▽川内村　川内小中学園▽大熊町　学び舎ゆめの森▽双葉町　双葉南小・双葉北小▽浪江町　なみえ創成小▽葛尾村　葛尾小▽飯舘村　いいたて希望の里学園

福島県・中学校（11 校）いわき市　豊間中▽川俣町　山木屋中▽広野町　広野中▽楢葉町　楢葉中▽富岡町　富岡中▽川内村　川内小中学園▽大熊町　学び舎ゆめの森▽双葉町　双葉中▽浪江町　なみえ創成中▽葛尾村　葛尾中▽飯舘村　いいたて希望の里学園